

外部評価 実施日	R6年 2月 14日
-------------	------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人博愛福祉会	代表者	大西弘文	法人・ 事業所の 特徴	小規模多機能型居宅介護事業所として、住み慣れた地域で安心して生活が送れるようサービス提供を行っています。また、利用者・家族の要望に柔軟に対応するとともに、残存機能の維持向上・自立支援に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいます。
事業所名	ゆとり庵大中	管理者	浅井貴史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	2 人	人	人	1 人	人	2 人	人	6 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者が楽しみたいこと、困っていることを共通理解しサービス提供を行う。	コロナも落ち着き、外出や活動、面会等の楽しみは増えたように感じるが、情報収集や共有、積極的な取組みに関しては不十分な点も残った。	このような報告をいただけて、わかりやすかった。また、事業所職員の自己評価に関して点数が低いように感じた。	ご利用者様のやりたいことの把握を行い、目標設定や自己実現、尊重に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	誰もが入りやすい開かれた事業所を目指し、事業所内外の環境整備を行う。	整理整頓を心がけて、取り組むことが出来た。誰もが立ち寄れる工夫は継続して必要である。	コロナ禍、事業所の状況が確認しづらい状況であったが、事業所での報告を通じて確認できやすくなった。	明るい環境づくりを心がけ、来訪しやすい事業所づくりを目指す。また、ご利用者にも安心して過ごしていただける環境づくりに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	より地域との関わりを大切にし、利用者、職員とも地域の行事に参加できる機会を増やす。	地域活動への参加も意識して取り組めた。ただ、限られた職員の参加となることが多いので、事業所全体で取り組んでいく工夫が課題である。	相談しやすく感じる。また、地域行事も手伝ってもらえて助かった。	会議や地域のイベント等に引き続き参加を行いながら、事業所主体で地域への取り組みを1つ実施したい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域で暮らし続けるための問題点を意識しながら支援を行う。	自事業のサービスにとらわれず、インフォーマルサービス等も含めた支援を意識できた。今後頂いた意見も取り入れ、より良い支援を目指したい。	ご利用者の地区担当の民生委員の方とも、顔合わせを行ってはどうか。	インフォーマルサービスや地域資源の活用、外出や楽しみ、喜びを持っていただけるように取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所での開催を行い、事業所内の雰囲気を含めた評価を頂き事業所運営に役立てる。	事業所の雰囲気としては伝わりやすかったのではないかと感じる。今後は地域での課題等も確認させていただきながら取り組みたい。	事業所にて対面での開催が行われ、取り組みが伝わりやすかった。	地域での困りごと等の情報共有も行き、事業所として協力できることを検討して取り組んでいきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	定期的な訓練の実施と、日常的に職員が防災の意識を高められるようチェックシート等の活用を行う。	訓練や災害対策の作成、動画研修等を行い、意識付けを図れた。今後はどこまでリアルに想定して取り組んでいくことが出来るのが課題である。	地区や近隣事業所と、災害時対応の協議や協力体制の構築等今後実施してもらいたい。	防災・災害対策や訓練の共有を行い、地域や近隣事業所とも協力体制の構築を図れるよう取り組みを進めていく。